

自然感

# くすのき

yumi



## 季節感

昔の美男子の髪を整えたからかビナンカズラの別名がある。花の後、花床が球状に膨み多くの球形の果実を付ける。「常緑つる性」

『サネカズラ』

平成19年12月1日

福岡市西区小田

大塚俊樹



## 熊洞居人独言

# 2 1

現在の宝満山は、全山豊かな緑に覆われ、春の新緑や秋の紅葉を楽しむ人々に親しまれている。しかし、前回までに紹介したように、50年前までは山頂近くの一部の林を除き、里山＝雑木林に覆われていた。仏頂山から三郡山に掛けての尾根筋は、カエデやシデを中心とした落葉低木の雑木林、中腹から上部はスギ・ヒノキの植林地と常緑・落葉混交林、山麓近くはアカマツ林など、広範囲に里山が広がっていた。

山中には、平安時代初期に最澄が遣唐使としての安全祈願を行ったと称される窟、鎌倉・室町時代に修験者が修行を行った遺跡、江戸時代の宿坊跡など、至る所に遺跡が点在する。これらの遺跡は殆どが未調査で、中には人知れず埋もれているものもある。最近、宝満山の全貌を知りたいことを目的にした「宝満山研究会」が発足し、宝満山の歴史や民俗、自然などについて、それぞれの専門家から話を聞き、現地を尋ねて勉強会を行っている。クマは自然を担当しているが、宝満山の自然の歴史を探るうちに、かなり長期間にわたって里山利用が行われていたことが判ってきた。

山麓近くの林道脇には、雑木林の中に礎石らしい巨石群が点在している場所がある。ここは、最澄が全国6ヶ所に建設を志した「六所宝塔院＝りくしょほうとういん」の一つが置かれた場所ではないかと推定されている。来年初めこの遺跡の発掘調査が行われることになり、発掘に協力する目的で、研究会の有志で調査範囲の雑木林を部分的に伐採した。クマは伐採してはいけない樹種の指導を行ったが、切り倒されたシイやカシ、リョウブなどの年輪を数えてみたら、殆どの樹木が20年前後の樹齢であることが判った。また、伐り跡にはアカマツの枯れ株が散在していた。20年前まではアカマツ林であった証拠である。クマの記憶では、付近一帯は広範囲に樹齢20～30年前後のアカマツ林であった。つまり、典型的な里山であった。今回伐採された樹木も殆どは切り株から萌芽し、20年後には元の姿に戻るようになる。



## ～事務局からのお知らせ～

この、NAIS福岡会報『自然感くすのき』は、NAIS福岡ホームページにも毎号掲載しています。  
(<http://www.kurabird.com/> (自然案内舎(有)クラブドHP)のトップページ下方にある、「福岡県自然観察指導員連絡協議会」からお入り下さい。)

現在、この会報は、全会員に郵送しておりますが、もし、「ホームページの方で見るので、郵送分は必要が無い」という方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせ下さい(連絡先は、会報奥付をご覧ください)。順次対応させていただきます。

なお、この場合、郵送費用はホームページ維持費に充てますので、ご了承下さい。

## 鎮守の森シリーズ・西公園観察会(2007年12月8日)報告

12月8日の13時から15時頃まで、西公園で実施した。参加者はお世話係も含めて10名。天気は曇りで寒かったけれど、充実した時間だった。

1人一人の挨拶後、今回は光雲神社に挨拶した。本殿前の柑橘類〔多分コミカン?〕が気に入り、この木から観察開始した。まーく選定された樹形がおもしろかった。その後、ムクの実を味わい、落ちていた柿の実をじっくりと観察したが、どうも渋柿のようでした。熟して落ちた実は甘いけれど少し渋みがありました。実の形がドングリのマテバシイの実を大きくしたような形をしていた。直ぐ横にカキノキダマシ〔別称チシャノキ〕があり、比較した。シイの林で、コジイの実を後で味わうために少し拾った。しかし、殻が多かったのは、ここでたくさん拾われているためのようです。シイの実も人気があるようです。林内のカクレミノの葉をじっくり観察し、グーチョキパーの葉を探した。

ムクゲの種、観察した事ありますか。毛がたくさん生えた種はおもしろい形をしていますよ。みんなで、この形の意味を考えました。

古い石垣で、キランソウの紅葉を発見。鮮やかな紅葉にびっくりした。この石垣にはタブの芽生え、石垣の隙間に根を張っていたイヌビワ、カタバミ、ノキシノブの胞子を拡大鏡で観察した。この石垣は石と石の間にコンクリートをいれているにも関わらず、小さな隙間に芽を出していることに感心した。

【参加者の感想】冬でもいろいろ楽しめることを体験した。漸く参加できた。カクレミノの葉の形の変化がおもしろかった。マメ科の種を宿題にもらった。身近な植物の名前が分かって楽しかった。チシャノキを覚えた。身近な西公園で意外な発見があった。会員に成りたい。何かのついでがあると観察会に参加しやすい。

皆さんの身近で、観察できる場所があれば、観察会が出来ますよ。集合場所や道案内さえいただければ良いのです。気軽に手を挙げてくださいよ。お願いします。報告は田草草でした。



～開始の挨拶～



～石垣の植物観察～



～少し拾いました～



**日本野鳥の会福岡支部 主催**

参加費：100円（中学生以下無料）

12/16(日) 1/20日(日)  
天拝山探鳥会（筑紫野市）  
時間：9:00～12:00  
集合：天拝山歴史自然公園  
問合せ：092-920-7112（山本勝）

12/22(土) 1/26(土)  
久末ダム探鳥会（福岡町）  
時間：8:00～11:00  
集合：久末ダム多目的広場横駐車場（管理事務所下）  
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

12/2(日) 1/6(日)  
今津探鳥会（福岡市西区）  
時間：9:00～12:00  
集合：玄洋高校西側道路  
問合せ：092-891-9005（神園道男）

1/12(土)  
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）  
時間：9:00～12:00  
集合：ポート乗り場前  
092-573-1827（森健児）

1/13(日)  
和白海岸探鳥会（福岡市東区）  
時間：9:00～12:00  
集合：JR 和白駅前公園  
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

**月例探鳥会**  
**多々良川下流** 12月24日（月・振替休日）  
時間：10:00～12:00頃  
集合：志賀島渡船場前 10時  
交通：博多埠頭から市営渡船が便利。  
問合せ：092-985-6591（栗原）

**日本野鳥の会筑後支部 主催**

参加費：100円（中学生以下無料）URL: <http://mamewari.blog.ocn.ne.jp/>



12/23(日)  
濃施山公園（みやま町）  
時間：9:00～  
集合：公園内すいせん橋  
問合せ：0944-58-1672（野田）



**三国丘陵の自然を楽しむ会 主催**

**福岡植物友の会 主催**

詳細は：092-947-6536（大吉博子）

12/22(土) 里山を歩こう  
時間：9:30～  
集合：埋蔵文化財調査センター駐車場  
問合せ：092-920-3072（松永）  
要：保険料



**和白干潟を守る会 主催**

**久留米の自然を守る会 主催**

12/15(土)  
守る会定例会議  
時間：10:30～12:30  
集合：和白干潟を守る会事務所  
問合せ：092-606-0012（山本弘子）

12/15(土)  
クリーン作戦 と自然観察会  
時間：15:00～17:00  
集合：海の広場 駐車場なし  
長靴・軍手があると便利  
問合せ：092-661-1594（田辺スミ子）

12/16日(日) 第352 回例会  
冬の自然観察会とだご汁会  
時間：9:30～14:30  
集合：高良内幼稚園 雨天中止  
持ち物：マイカップ、マイはし、水筒、  
参加費：300円  
問合せ：0942-46-8622（古賀）  
共催：久留米市農政部生産流通課



**福岡市油山自然観察の森 主催**

往復ハガキでの申込方法はハガキに「行事名・行事実施日・住所・氏名・年齢・電話番号」を記入の上、自然観察センターまでお送り下さい。

12/23(日)  
冬鳥むかえてバードウォッチング  
冬鳥たちが勢揃いした森でバードウォッチングを楽しみます。  
時間：10:00～13:00  
対象：一般  
申込み：不要・9:30より受付  
定員：なし  
雨天実施

年末年始休館のお知らせ  
12月29日～1月3日まで  
油山自然観察の森・自然観察センター

問合せ：油山自然観察センター  
参加費：100円  
〒811-1355  
福岡市南区松原夫婦石 855-1  
TEL：092-871-2112  
開館 9:00～16:30（月曜休館）



観察会の様子を、協力していただいた会員の報告を基に、編集部田村がまとめました。今号と次号の2回に分けてお送りします。

全部の報告は、学校に提出し、子供達のまとめに活用してもらおうようにしました。



## 【若久小学校5年生と自然観察】

安全対策と自然環境の確認のための下見は、11月10日の午後に植物班が、11月12日の午後に昆虫班と水生生物班が、それぞれ約3時間程度実施した。

11月14日は、晴れて穏やかな天気だった。8時40分、総合センターたけのこ広場にて、5年生と先生に挨拶と自然観察指導員の自己紹介をした後、**自然観察で注意すべき生きものの紹介**をした。

- ・ スズメバチ / まだ活動中なので、要注意です。
- ・ マムシ・ヤマカガシ / 藪の中いきなり入らない。
- ・ 棘の多いガや蝶の幼虫 / 直接手で触らない。
- ・ ウルシの仲間 / 紅葉して美しいがかぶれる場合もあるので注意が必要だ。

これら注意すべき生き物も昔から生活の中で役立てていた。これらの生き物は生態系という生き物のつながりの中で、大切な位置を占めている。危ないからといって取り除くのではなく、共存することが大切だ。

この後、3つの班に分かれて活動に入った。植物班は大塚俊樹・堀謙治・山本弘子、昆虫班は山本勝・寿美子・松下彩二、水生生物班 小野仁・成子・松永紀代子・田村耕作。



### 〈水生生物班〉

川を外から観察。川の流れ、今日観察する場所は多々良川の流れが山の中を流れてきて、ここから福岡の平野に流れ出ていく、そういう場所と言うことです。

**田村耕作班** 冬鳥のジョウビタキやアオジ、川の中にいたセグロセキレイ、ハクセキレイ、キセキレイ、それにカワセミやカワガラス、などの野鳥は川に頼ってこの自然環境の中で食べ物を探して生きている。川の中に生育しているヨシの話、水の浄化に大変役立っていることも。川の上から川の流れ、ゆるやかな流れ、泡立ち早い流れ、岩に生えているヤナギの木を観察してもらった。

**小野仁班** ノビル、ムカゴ、クレソンをみんなで味わった。また、川がカーブしていて水の流れがカーブの外側をとおり、内側は砂がたまり、水辺の植物が帯状にはえていることを紹介し、観察してもらった。

**小野成子班** わたしにとって篠栗は、久しぶりのフィールドでした。川辺でも川に入っても若久小の子供たちは生き物を次々と見つけては見せてくれました。『みんなあ、なかなかやるじゃん！いいセンスしてたよ！！』今回の篠栗での不思議発見と体験は子供たちの大きな宝物になるものと信じています。

### 松永紀代子班

川を高いところから見ながら、川的环境を見て貰いました。つまり、川は水が流れているところだけではなく、川の水石、岩盤、砂、人工的なブロック、水際の植物、そして、もっと上の土手道の植物などが川的环境を作りだし、そこに生きる昆虫や野鳥、小動物を支えているということを伝えました。また、川のそばにある田んぼやその土手も湿気のある植物が生えることが出来る環境にあるということも観察して貰いました。その中で命が繋がっていること、を考えてもらいました。

午後、いよいよ川原に入った。護岸を、脚立を用いて降りた。ヨシの中を歩いて川原にでる道は予め作っておいた道を利用した。橋の下とその下流に小石の川原が広がっているその下で、いよいよ水生の昆虫をはじめ川の中の生き物探しを開始した。

生き物がどんな環境にいるのか、よく観察して欲しい。川の中の小石は、そーっとはがしてみる。生きよいはよくはがさない。網をどう活用したら、うまく生き物をすくえるか、考えつつ観察するように伝えた。

よどみの中に落ち葉がたくさんあり、その落ち葉には小さなカワニナがたくさんいた。小石をそーっと除くとドンコ、サワガニ、小石の裏にはカゲロウの仲間、トビケラの仲間の巣、トンボのヤゴ(幼虫)などを紹介した。その後はしばらく観察。今、この時間、水生の生き物にとって嵐に違いない。

14時半頃、川原でお互いに発見した生き物を観察しあい、1種類をミルピンに入れてセンターに持ち帰って観察する予定とする。

川からあがって、簡単なまとめとした。生き物が「食べる食べられる関係でつながっている」ことを、紙コップをピラミット状に積み上げて、一番下の紙コップ一つを除くと一部が崩れるという実験をしつつ、つながりの大切さを話した。また、この多々良川と校区の若久川の違いを考えて欲しいとお願いした。

### 観察した生きもの

- 魚 カマツカ / この魚の口の向きを観察、砂を吸い込んでその中にいる生き物などを食べる。中下流の砂地を好む。
- カワムツ / 岸近くのヨシが生えている流れの緩やかなところを好む。
- オイカワ / 川のいろんな環境にも生息し、多様な食性を示す。
- ムギツク / 川の中流の岩場、大きな石がごろごろしている場所を好む。
- ドンコ / 岩の下や隙間を好む
- ヨシノボリ類 / 川の砂礫地の川底に生息している。
- ハヤの仲間 / タカハヤ 川の上流から中流域に生息し、雑食性である。
- その他 スジエビ、サワガニ、シジミ、巻き貝の卵、トンボのヤゴ(コオニヤンマ・アオサナエ・コヤマトンボなど)  
カゲロウの仲間、トビケラの仲間、ヒラタドロムシ、ゲンジボタルの幼虫、カワニナ



(植物・昆虫の報告は次号で)

## ～本の紹介～

### 環境教育読本出版

「ひとつの川から見えるもの - 筑後川支流・高良川流域から -」  
久留米の自然を守る会 / 申し込み受付中(お早めにどうぞ!)  
A4版355pの大作で、1冊2000円  
(郵送料、振り込み手数料は別途)

久留米の自然を楽しむ会事務局  
<http://kurumenoshizen.net/>  
mail ; [fushin@kurumenoshizen.net](mailto:fushin@kurumenoshizen.net)  
または、  
電話 0942-46-8622  
FAX 0942-46-8623



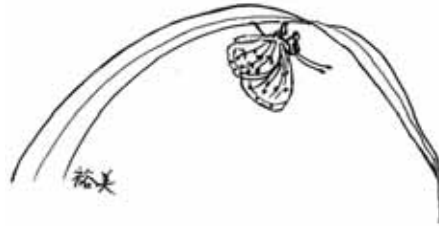
久留米の自然を守る会が、久留米市街地を流れる全長11.5kmの小さな川を総合学習の教材として、また、川の復権を願って書いた本です。川を他面的にとらえ、多数のカラー写真や地図が使用されています。流域の地形・地質・植生などの自然環境、多くの生き物たち、治水や利水対策、人と川につながり、人々の暮らし、歴史が克明に書かれています。



## 事務局からのお知らせ

文字のついたアサギマダラ発見、日時：2007年10月26日11時46分から47分にかけて。場所：福岡県福岡市城南区西油山林道。報告田村。その結果、以下の連絡がありました。

長崎の伊藤です。この写真のマークは「バイオ2715 ナガサキ S 10/17」と書いています。長崎県佐世保市弘法岳から10月17日に妻昭子と二人でマーキングした個体です。当日は190匹をマークした中の1匹です。この時期で南下ではなく、北上した結果ですので興味がある事例になったと思います。長崎県から福岡県に移動した例は春、夏、秋を含めて私の知る限りでは初めてです。福田さん、田村さんありがとうございました。



# これは何だろう!?



これは何だか  
解かりますか?

《前回の解答》

ヤマユガの仲間のクスサンでした。

大きな目玉模様には驚かされますね。

インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。  
ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

### 会費振込について

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

郵便振替口座：福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783 年会費：2000円

### 皆に知らせたいことはありませんか？

皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。皆さん情報をお待ちしています。

### 定例会に参加してみませんか？

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として毎月第2金曜の18:00~20:00ごろまで自然案内舎(有)クラブにて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております！

次回の定例会は、2008年1月11日(金)午後6時より事務局で行います。1月号の原稿は、1/4(金)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

### 他団体の会報の紹介

NPO法人自然観察指導員埼玉 あらかわ通信 No.143 2007年12月1日

福岡県青少年アンビシャス運動推進室 アンビシャス通信vol.39 NOVEMBER 2007

日本野鳥の会筑後支部 まめわり第80号 2007年12月1日

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会  
(NAIS Fukuoka: The Nature Interpreter Society of Fukuoka)  
代表：冷川昌彦 / 事務局長：小野 仁 /  
編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子・吉田素子 / 会計：宮原俊彦  
〒810-0061 福岡市中央区西公園 8-17  
自然案内舎(有)クラブ内 TEL & FAX: 092-732-7042  
URL: <http://www.kurabird.com/>  
掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

### 編集後記

2007年11/9定例発送会は、西村裕美・藤川渡・鶴田義明・大塚俊樹・冷川昌彦・田村耕作が参加。山本勝・田中健二から欠席の連絡。UNから温州みかん、KTからムカゴの醤油煮の差し入れに感謝。そばの西公園にて今年最後の観察会を実施。参加者から定期的な観察会を望む声も有りましたよ。

皆さん、どなたか実行しませんか。場所も皆さんで検討しましょう。

田字草

